



イギリス・セラフィールド原子力施設内にあるソーブ再処理工場で4月18日、**大規模な漏えい事故**が確認され、工場は無期限に停止しています。再処理工場とは、原発の使用済み燃料からプルトニウムを取り出す施設です。日本でも青森県に六ヶ所再処理工場が建設され、稼働に向けた施設の試験が行われています。

原子力資料情報室

TEL 03-5330-9520 FAX 03-5330-9530
<http://www.cnrc.jp> 【2005/5/30】

THORP（ソーブ）再処理工場

漏えいは2004/8から 配管は1月破断！！

◆**83 m³の使用済み燃料溶液が流失！** 漏えい事故は、ソーブ工場の前処理建屋で発生しました。しかし計量槽（タンク）が設置されている部屋（セル）は、普段でも放射線が非常に強いため人が近づくことはできません。翌19日になってようやく、リモートカメラによるセル内の調査が行われました。計量槽の上部に接続している配管が「破断」しており、この部分から溶液が83 m³も漏えいした模様です。漏れた溶液はステンレスで内張りされた床に貯まっており、約25センチの高さに達したという報道もあります。

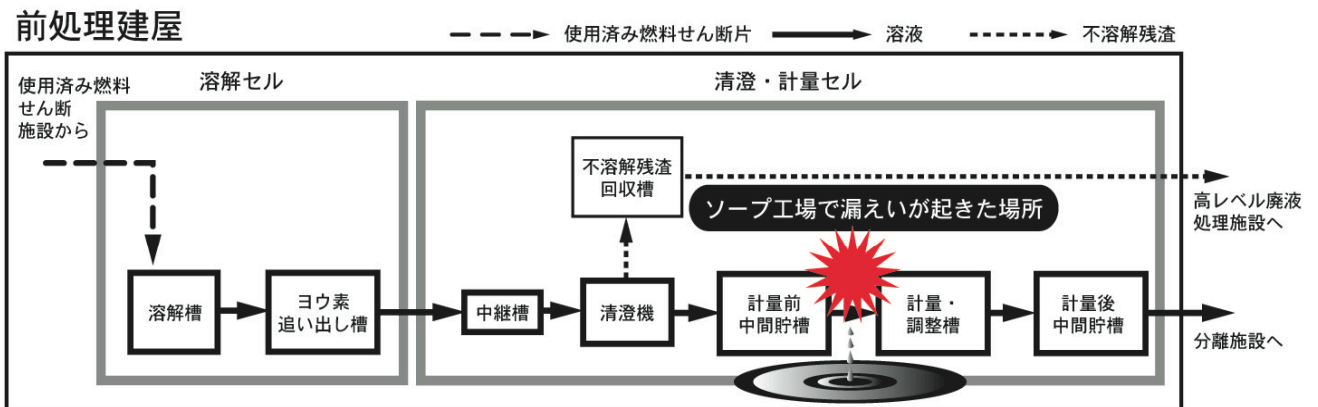
◆**漏えいは9ヶ月前から発生！** 事故発生から1ヶ月半後の5月27日に公表された調査結果によれば、配管からの漏えいは9ヶ月前の2004年8月から確認されていたのです。

◆**配管はすでに1月に破断！** さらに今年の1月中旬以降漏えい量が増しており、配管が破断していたことが明らかになりました。また4月19日の漏えい事故公表までに、サンプリングや測定が行なわれ漏えいを検知する機会があったのに確認できなかつた、というのです。配管破断の原因は、金属疲労と推定されています。

◆**漏えいモニターは作動していたのか？** NII（原子力施設検査局）は、漏えいモニターがどこに設置されているか、作動していたかどうか今後確認する、としています。

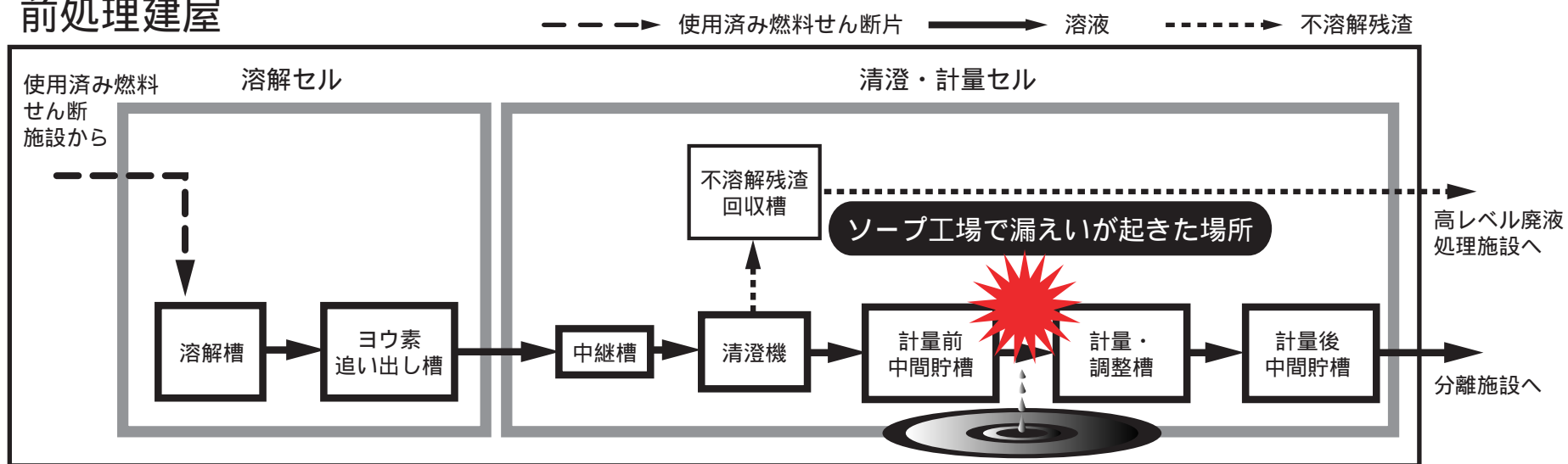
◆**溶液の回収作業開始** 溶液はセルの床からポンプで汲み上げられ、工程中のタンク（中間貯槽）に戻される予定ですが、全体の回収を終了するまでにさらに約4週間かかると公表されています。

◆**施設閉鎖の声増大！** 事故によって、ソーブの経済的問題はさらに困窮することは必至です。政府内部からも施設閉鎖の声が上がっており、今後大きな議論になるでしょう。



六ヶ所再処理工場の溶解・清澄工程の概要

前処理建屋



六ヶ所再処理工場の溶解・清澄工程の概要